

独立行政法人の不要資産の国庫納付の状況について

平成28年9月
総務省行政管理局

●不要資産の国庫納付について

「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」（平成22年12月7日閣議決定）に基づき、各独立行政法人の不要資産を国庫納付することを決定。各不要資産の納付状況の概要については、以下のとおり。

【平成22～26年度（国庫納付済み）】

①金融資産・・・2兆917億円

※ これに加え、国際協力機構の保有株式（簿価ベース261億円）について、売却益分の相当額である62億円を国庫に貢献。

②実物資産・・・93項目（現物納付：49項目、売却益の金銭納付：204.9億円）

【平成27年度（国庫納付済み）】

①金融資産・・・国庫納付額14.8億円

②実物資産・・・11項目（現物納付：4項目、売却益の金銭納付：92.5億円）

【平成28年度以降（国庫納付予定）】

①金融資産・・・国庫納付予定額3.5億円+ α （金額未定分）

②実物資産・・・29項目

1. 金融資産の国庫納付状況(平成22年4月1日～平成28年3月31日)

(億円)

所管府省	法人名	資産名等	基本方針の措置内容	国庫納付額	
				平成22～26年度	平成27年度
総務省	情報通信研究機構	衛星放送受信対策基金	30	30.3	-
		基盤技術研究促進勘定の政府出資金	66億円のうち不要分	50.0	-
		出資勘定の承継時出資金	18億円のうち不要分	20.1	-
		通信・放送承継勘定の承継時出資金	181億円のうち不要分	188.8	-
		高度電気通信施設整備促進基金	41.6	42.6	-
外務省	国際協力機構	財団法人日本国際協力センターの内部留保	内部留保相当額	3.3	-
		施設整備資金	適正な国庫納付額	14.6	-
	国際交流基金	運用資金(基金)	342	342.1	-
		不要資産の譲渡収入等	8	7.7	-
文部科学省	国立青少年教育振興機構	子どもゆめ基金	100	101.3	-
厚生労働省	福祉医療機構	長寿・子育て・障害者基金事業基金	2787	2944.6	-
		政府出資金等	事業廃止後の不要額	14.3	-
	労働政策研究・研修機構	政府出資金	3	3.4	-
	雇用・能力開発機構	雇用促進住宅利益剰余金	576億円のうち不要分	356.3	-
		国際能力開発支援センター剰余金等	委託先留保分のうち一部	2.4	-
	医薬基盤研究所	政府出資金(開発振興勘定)	25	26.2	-
	政府出資金(承継勘定)	48億円のうち一部	19.1	-	
農林水産省	農業・食品産業技術総合研究機構	政府出資金及び積立金(固定資産売却益)	8.6	8.6	-
		ウルグアイ・ラウンド対策事業運用利益等負債	2	2	-
		特例業務勘定の政府出資金	業務廃止後の残余額	7.3	9.5
	水産総合研究センター	漁獲収入低減リスクの分散のための政府出資金	11	11	-
	農畜産業振興機構	野菜関係業務の未活用資金	国庫納付額を調整	106.8	-
	農林漁業信用基金	農業信用保険勘定の低利預託用出資金	125	125	-
		林業信用保証勘定の低利預託用出資金	73	73	-
		漁業信用保険勘定の低利預託用出資金	60	60	-
農業災害補償関係勘定の利益剰余金・政府出資金		40	40	-	
経済産業省	新エネルギー・産業技術総合開発機構	省エネ・リサイクル支援法債務保証(一般)の資金	10.6	10.6	-
		省エネ・リサイクル支援法債務保証(需給)の資金	21.8	21.8	-
		省エネ・リサイクル支援法債務保証(特定)の資金	5	5	-
		鉱工業承継勘定の出資金	168	168	-
	日本貿易振興機構	敷金・保証金等	353	353.4	-
		有価証券評価差額金	6.2	7.1	-

所管府省	法人名	資産名等	基本方針の措置内容	国庫納付額	
				平成22～26年度	平成27年度
経済産業省	情報処理推進機構	信用基金	90.5	90.5	-
		一般勘定の資産	40億円以上	42.3	-
		地域事業出資業務勘定の出資金	11.4	11.4	-
	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	鉱害保証債務基金	2.9	2.9	-
		宿舍買換資金残(石油、金属)	3.3	3.3	-
		運営費交付金債務	24	23.9	-
	中小企業基盤整備機構	一般勘定流動資産相当の余剰資金	(注1)	648.9	-
		第1種信用基金	28	28.1	-
		第2種信用基金	不要額を随時納付	83.4	5.3
		産業基盤整備勘定の出資等業務に係る出資金	4	4	-
		施設整備等勘定の出資金	1.2	3.3	-
		産炭地域振興事業債調整分利子補給資金等交付金	0.1	0.1	-
国土交通省	鉄道建設・運輸施設整備支援機構	特例業務勘定の利益剰余金	国庫納付額を調整	12000	-
		鉄道施設貸付・譲渡事業の出資金	12.5	36.5	-
		高度船舶技術開発等業務における信用基金	10	8.5	-
	海上災害防止センター	防災基金に係る政府出資金	3.3	3.3	-
	住宅金融支援機構	ALMリスク対応出資金	480億円のうち不要額	113	-
		金利変動準備基金	450億円のうち不要額	106	-
		証券化支援事業に係る政府出資金	2000	2000	-
		住宅融資保険事業に係る政府出資金	事業廃止後の不要額	234	-
		まちづくり融資に係る政府出資金	300	307	-
			合計	20,917.1	14.8
				20,931.9	

(注1) 中小企業基盤整備機構の一般勘定流動資産相当の余剰資金については、「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」において、「一般勘定資産について、可及的速やかに2000億円を国庫納付する。その際、機構全体の財務の健全性が確保されるよう納付方法に留意するとともに、緊急の中小企業対策等に必要な資金が確保されることに留意する。」とされている。

(注2) 上記以外の不要資産として、国際協力機構の保有株式(簿価ベース261億円)について、売却益分の相当額である62億円を国庫に貢献。

2. 金融資産の国庫納付見込み(平成28年4月1日以降)

(億円)

所管府省	法人名	資産名等	基本方針の措置内容	国庫納付見込額
厚生労働省	福祉医療機構	政府出資金等	事業廃止後の不要額	金額未定
	医薬基盤研究所	実用化研究支援事業に係る委託先からの納付金	研究成果が生じた場合	金額未定
経済産業省	新エネルギー・産業技術総合開発機構	新エネルギー利用等債務保証の資金	20億円のうち不要額	金額未定
	中小企業基盤整備機構	一般勘定流動資産相当の余剰資金	(注)	金額未定
		第2種信用基金	不要額を随時納付	3.5
			合計	3.5

(注1)福祉医療機構の政府出資金等については、事業廃止後の不要額を国庫納付することとされているが、不要と認められる政府出資金の一部(14.3億円)を平成27年3月に国庫納付しているため、「1. 金融資産の国庫納付状況(平成22年4月1日～平成28年3月31日)」にも記載している。

(注2)中小企業基盤整備機構の一般勘定流動資産相当の余剰資金については、「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」において、「一般勘定資産について、可及的速やかに2000億円を国庫納付する。その際、機構全体の財務の健全性が確保されるよう納付方法に留意するとともに、緊急の中小企業対策等に必要な資金が確保されることに留意する。」とされている。

3. 実物資産の国庫納付状況(平成22年4月1日～平成28年3月31日)

(百万円)

所管府省	法人名	施設名等	納付状況	
			平成22年～26年度	平成27年度
外務省	国際協力機構	区分所有の保有宿舎	2,271	—
		保養所(勝浦2室)		—
		保養所(石打)		—
		箱根研修所		—
		東京国際センター八王子別館		—
		広尾センター	現物納付(2,864)	—
	国際交流基金	区分所有の保有宿舎	15	—
財務省	造幣局	東京支局庁舎分室	650	—
		白浜分室	17	—
		伊東分室	現物納付(76)	—
		宮島分室	現物納付(59)	—
		本局独身寮	978	—
		観音宿舎(一部)	107	—
		枚方宿舎	現物納付(453)	—
		四条畷宿舎	現物納付(553)	—
		四条畷事業用地	現物納付(121)	—
	国立印刷局	大手町敷地	現物納付(85,195)	—
		市ヶ谷センター	現物納付(10,846)	—
		久我山運動場	現物納付(3,773)	—
		鎌倉宿泊所	679	—
		京都宿泊所	253	—
		那須保養所	現物納付(65)	—
		伊東保養所	現物納付(73)	—
		出雲敷地	現物納付(11)	—
		出雲第2敷地	現物納付(10)	—
		松山敷地	現物納付(38)	—

所管府省	法人名	施設名等	納付状況	
			平成22年～26年度	平成27年度
文部科学省	国立科学博物館	霞ヶ浦地区	現物納付(145)	—
		新宿分館	現物納付(5,005)	—
	物質・材料研究機構	目黒地区事務所	—	現物納付(2,696)
	科学技術振興機構	伊東研修施設	11	—
		池袋宿舎(205)	現物納付(12)	—
		池袋宿舎(405)	現物納付(13)	—
	日本スポーツ振興センター	検査・研修施設(阿佐谷)	現物納付(448)	—
	日本学生支援機構	仙台第一国際交流会館	187	—
		仙台第二国際交流会館	15	—
		駒場国際交流会館	579	—
		祖師谷国際交流会館	4,185	—
		大阪第一国際交流会館	694	—
		大阪第二国際交流会館	124	—
		広島国際交流会館	144	—
大分国際交流会館		—	71	
日本原子力研究開発機構	那珂核融合研究所未利用地	1,271	—	
厚生労働省	勤労者退職金共済機構	越谷職員宿舎	現物納付(152)	—
		松戸職員宿舎(建物)	現物納付(0)	—
	高齢・障害者雇用支援機構	岩手1号職員宿舎	6	—
		石川障害者職業センター跡地	現物納付(27)	—
		旧三重障害者職業センター	13	—
		富士見職員宿舎	—	67

所管府省	法人名	施設名等	納付状況	
			平成22年～26年度	平成27年度
厚生労働省	福祉医療機構	戸塚宿舎	214	—
		公庫総合運動場	現物納付(559)	—
		千里山田宿舎(2室)	現物納付(16)	—
		宝塚宿舎(3棟)	64	—
		川西宿舎	22	—
		玉川宿舎	—	130
		用賀宿舎	—	234
	雇用・能力開発機構	私のしごと館	現物納付(2,901)	—
		国際能力開発支援センターほか	現物納付(9,988)	—
		中野地域職業訓練センターほか	291	—
		佐賀職業能力開発促進センター本庄職員宿舎ほか	421	1,889
			現物納付(2,121の一部)	
	雇用促進住宅	5,822	6,860	
	労働者健康福祉機構	岩手労災病院職員宿舎(一本杉宿舎)4棟	1	—
		労災リハビリテーション北海道作業所	現物納付(34)	—
		労災リハビリテーション北海道作業所職員宿舎7棟	11	—
		労災リハビリテーション北海道作業所駐車場	0	—
		労災リハビリテーション千葉作業所	現物納付(403)	—
		労災リハビリテーション千葉作業所職員宿舎1棟	現物納付(22)	—
		労災リハビリテーション千葉作業所(駐車場)	現物納付(10)	—
		労災リハビリテーション長野作業所	—	現物納付(575)
		労災リハビリテーション長野作業所職員宿舎2棟	—	現物納付(24)
		労災リハビリテーション福井作業所	現物納付(520)	—
		労災リハビリテーション福井作業所職員宿舎3棟	現物納付(9)	—

所管府省	法人名	施設名等	納付状況	
			平成22年～26年度	平成27年度
厚生労働省	労働者健康福祉機構	労災リハビリテーション広島作業所	現物納付(137)	—
		労災リハビリテーション広島作業所職員宿舎1棟		—
		恵那荘	5	—
	国立病院機構	旧十勝療養所	現物納付(164)	—
		旧登別病院	87	現物納付(536の一部)
		旧金沢若松病院	408	—
		旧岐阜病院	現物納付(1,033)	—
		旧筑後病院	現物納付(739)	—
		旧鳥取病院	現物納付(1,730)	—
	医薬基盤研究所	薬用植物資源研究センター筑波研究部和歌山ほ場(一部)	32	—
年金積立金管理運用独立行政法人	行徳職員宿舎	471	—	
	日野職員宿舎	67	—	
農林水産省	農林水産消費安全技術センター	土地等(堺ほ場)	現物納付(177)	—
経済産業省	産業技術総合研究所	直方サイト	現物納付(75)	—
	新エネルギー・産業技術総合開発機構	区分所有宿舎(6戸)	20	—
		伊東敷地	—	2
		研究設備(噴出試験設備)	13	—
		白金台研修センター	現物納付(928)	—
	日本貿易振興機構	JETRO会館	現物納付(195)	—
	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	箱根研修施設	現物納付(513)	—
		旧松尾鉱山新中和処理施設の運営管理業務に係る倉庫	0	—
		粕屋敷地(注4)	45	—
太宰府敷地(注4)		39	—	
吉塚倉庫(注4)		232	—	

所管府省	法人名	施設名等	納付状況	
			平成22年～26年度	平成27年度
国土交通省	土木研究所	別海実験場	26	—
		湧別実験場	現物納付(22)	—
		朝霧環境材料観測施設(一部)	現物納付(37)	—
	海技教育機構	海技大学校児島分校(校舎)	現物納付(877)	—
環境省	環境再生保全機構	戸塚宿舎	現物納付(90)	—
防衛省	駐留軍等労働者労務管理機構	コザ支部	現物納付(82)	—
			20,489	9,253

(注1)納付状況欄に金額が計上されているものは、法人で売却後に売却益を国庫納付したものの。

(注2)現物で国庫納付した項目数は、平成22年度が6項目(簿価額999.9億円)、23年度が26項目(簿価額189.2億円)、24年度が9項目(簿価額79億円)、25年度が6項目(簿価15.2億円)、26年度が3項目(簿価31.7億円)、27年度が4項目(簿価33.0億円)。

(注3)納付状況欄の括弧書きは平成21年度の簿価額。

(注4)平成25年4月1日付で新エネルギー・産業技術総合開発機構から石油天然ガス・金属鉱物資源機構に当該資産が移管されており、石油天然ガス・金属鉱物資源機構において国庫納付を行った。

4. 実物資産の国庫納付見込み(平成28年4月1日以降)

(百万円)

所管府省	法人名	施設名等	実施時期	簿価 (平成21年度)
文部科学省	科学技術振興機構	与野宿舍	23年度以降	30
	日本学生支援機構	札幌国際交流会館	23年度以降	620
		金沢国際交流会館	23年度以降	585
		福岡国際交流会館	23年度以降	466
厚生労働省	福祉医療機構	東久留米宿舍(3棟)	24年度以降	67
		小金井宿舍(土地1件)	24年度以降	89
		小金井宿舍(建物2棟)	24年度以降	10
		日野宿舍(5棟)	24年度以降	284
		上大岡宿舍	24年度以降	299
		宝塚宿舍	24年度以降	141
		千里山宿舍	24年度以降	157
		高槻宿舍	24年度以降	332
	雇用・能力開発機構	佐賀職業能力開発促進センター本庄職員宿舍ほか	23年度以降	8,373の一部
		職業能力開発総合大学校(相模原校)	25年度以降	18,819
		雇用促進住宅	33年度まで	342,898
	労働者健康福祉機構	岩手労災病院付添者宿泊施設(清流荘)	22年度	1
		岩手労災病院職員宿舍(松倉宿舍)3棟	22年度	6
		水上荘	22年度	50
		労災リハビリテーション宮城作業所	24年度以降	827
		労災リハビリテーション宮城作業所職員宿舍2棟	24年度以降	18
		労災リハビリテーション愛知作業所	24年度以降	216
		労災リハビリテーション愛知作業所職員宿舍2棟	24年度以降	20
		労災リハビリテーション福岡作業所	24年度以降	268
		労災リハビリテーション福岡作業所職員宿舍	24年度以降	33
		国立病院機構	旧西甲府病院	22年度
	医薬基盤研究所	薬用植物資源研究センター筑波研究部和歌山ほ場(その他)	24年度以降	157
	経済産業省	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	筑紫野敷地(注)	22年度以降
篠栗書庫(注)			22年度以降	14
環境省	国立環境研究所	生態系研究フィールドⅡ(実験ほ場)	27年度以降	1,846

(注)平成25年4月1日付で新エネルギー・産業技術総合開発機構から石油天然ガス・金属鉱物資源機構に当該資産が移管されており、今後は石油天然ガス・金属鉱物資源機構において国庫納付を行う予定。